

## 平成28年度 多自然川づくりの取組事例

平成28年度多自然川づくりにおいて、各機関より下記の多自然川づくりの取組事例について報告がありました。

機 関 名	取 組 事 例
	概 要
国土交通省 岡山河川事務所	小田川合流点付替え事業における多自然川づくり
	小田川合流点付替え事業に伴い、柳井原貯水池を新たな河道として改修する。本事例は、新たに創出される河道の流況や河床状況の将来予測を行い、多自然川づくりの与条件となる平水時の物理条件を検討・整理したものである。
国土交通省 出雲河川事務所	斐伊川水系 生態系ネットワークの取組～大型水鳥類と共に生きる流域づくり～
	斐伊川水系は、西日本有数の水鳥の飛来地となっており、また、希少な大型水鳥が安定的に生息できるポテンシャルが高いと考えられている。 斐伊川水系ではこれらの特色を活かし、5種群の大型水鳥類を指標とした自然環境の保全・再生と、地域経済の活性化が両立した「斐伊川水系生態系ネットワーク」の形成を目指した取り組みを行っている。 自然環境の保全・再生については、専門家の意見・助言をもとに先行して取り組む地区を選定しており、今回は出島地区で予定している斐伊川河口の掘削土砂を利用した湿地再生や今後の取組方針を紹介する。
国土交通省 倉吉河川国道事務所	コガタノゲンゴロウと川づくり
	天神川水系小鴨川には、鳥取県条例で捕獲や殺傷を禁止される特定希少野生動植物に指定されたコガタノゲンゴロウが生息している。 当該河川の中流域に位置する小鴨地区において、本種の保護移植を実施するとともに、河川工事で消失する本種の越冬水域を代償する代替地（越冬水域）を整備した。その取組事例を紹介する。
広島県 土木建築局河川課	国兼川の多自然川づくりについて
	国兼川では、河川改修に当たり、H26年度の河川環境調査で希少種が発見され、H27年度に護岸詳細設計を実施した。その設計事例を紹介する。
国土交通省 岡山河川事務所	百間川分流部における環境配慮の取り組み
	現在施工中の百間川分流部改築工事における、設計時、施工時の環境への配慮事項と、モニタリングの状況について報告する。

## 平成28年度 多自然川づくりの取組事例

平成28年度多自然川づくりにおいて、各機関より下記の多自然川づくりの取組事例について報告がありました。

機 関 名	取 組 事 例
	概 要
国土交通省 太田川河川事務所	<p>樹木管理を通じた古川の環境維持について</p> <p>太田川の支川である古川は、地域と一体となった川づくりを行うなど、自然に触れあえる水辺環境整備を行ってきた。しかし近年では樹木の倒木が発生し、水辺環境の悪化や利用時の安全性低下が指摘されている。</p> <p>今回は、市民が今後も安全に利用できる水辺環境の維持を目的とし、市民・専門家・行政が協力して行っている樹木管理に関する取組みについて、紹介する。</p>
山口県 土木建築部河川課	<p>「水辺の小わざ」から10年 ～魚道改善の効果検証と今後の展開～</p> <p>山口県が管理する河川において、小規模ながらも効率的な河川環境改善に取り組む独自の取組みとして実施してきた「水辺の小わざ」について、本格的な着手から10年が経過した。</p> <p>今回は、「水辺の小わざ」を活用して魚道の環境改善を行った箇所において、従来型魚道との比較による生物遡上量等の定量的な比較による効果検証事例と、今後の「水辺の小わざ」活用の取組みについて紹介する。</p>
島根県 土木部河川課	<p>津和野川河川災害復旧助成工事（名賀川工区）における多自然川づくりについて</p> <p>平成25年7月の島根・山口豪雨では、島根県西部に位置する津和野町を流れる一級河川高津川の支川津和野川流域において、最大時間雨量約100mm、総雨量約400mmを記録。津和野川上流部及びその支川名賀川において甚大な被害が発生した。</p> <p>今回、名賀川の復旧にあたり多自然川づくりアドバイザー制度を活用して実施した河川災害復旧助成工事の事例を紹介する。</p>